

# 課題

## 《時間との闘い》

リベリア、コンゴ共に大統領選挙があり、新大統領と新しい閣僚、駐日大使等々が交代となる

(1) リベリア・・・サーリーフ大統領（2期・10年）



ウェイ大統領が就任（元欧州プロサッカー選手）

コンゴ・・・ Joseph KABILA大統領（2期・12～13年）



Félix TSHILOMBO TSHISEKEDI大統領が就任

(2) 駐日リベリア大使は不在。駐日コンゴ大使は、キティマ大使が就任。  
従前の勉強会や意見交換会を含む信頼感を得るまでに時間がかかる。

# 課題

## 《時間との闘い》

(3) 2018年10月

TICAD閣僚会議にリベリア外務大臣が来日し、昼食会談を行う。  
従前の政権と国外の支援要請は全く同じとの要望を貰う。

(4) 現在リベリアには日本大使館がない（10年前の内紛により、大使館は閉鎖されている）。そのため正式外交ルートは、  
リベリア外務省⇒駐ガーナリベリア大使館⇒駐ガーナ日本大使館⇒日本外務省  
となるため、時間ロスが大きい。

(5) 日本の外務省も幹部が2回交替している。

# 課題

## 《紛争》

(1) 内紛により日本大使館がない（数年後に復活か？）

(2) 大統領選挙の後遺症で、コンゴでは未だに正式な大統領が決定されていない。

このため、内紛地域で新しいエボラ出血熱がアウトブレイクしたが、国際医療救  
援  
支援チームが入れない。

## 《診断・治療》

(1) 発生し、現地で迅速な診断ができていない。

(2) エボラ出血熱を含む多くの感染症は有効な治療法が確立されていない。

# 課題

## 《教育・習慣・文化》

- (1) 早期発見・診断・隔離と教育が一番大事です。
- (2) 何時・何処・どのような災害、感染症が起こるか誰もわかりません。
- (3) そのためにも、医療従事者の教育・研修のみならず、普段からの住民教育、公衆衛生教育を行うことが大切です。
- (4) 正しく恐れ、正しく備え（PPE）、正しい情報があれば恐れはなくなります。

いつ起こるか分からない災害の起こる前に、できること又やらなければならないことを伝えて、身につけてもらうことが我々日本災害医療ロジスティック協会の使命です。

非常に高い致死率のエボラ出血熱病（症）が次に発生する前に、皆様方のご支援とご指導を頂き現地での教育と備えと、迅速な情報共有ができるようこれからも活動をしてまいります。

ご清聴ありがとうございました。